

# 推し活アプリの開発で動物園・水族館のマーケティングDXに挑戦！ さらに、規格外となった農産物を動物たちの食事として流通させる

採択事業者名

株式会社OHANA

コンソーシアム構成員

株式会社ミヤモトオレンジガーデン | 株式会社宇和島プロジェクト



## 目的

私たちの目的は、動物園・水族館のマーケティング領域をDX化し、ファンにとって個別最適で体験型の推し活アプリ「Hello!OHANA」を開発することで、従来の陳腐化した提供価値そのものを変革し、ファンが好きな動物に会うために施設を訪れ、社会全体で動物を応援できるサービスを構築すること。さらに、規格外となった農産物を動物の食事として流通させ、生産者の新規販路開拓を目指す。

## 課題

サービス対象者である①動物園・水族館、②生産者はそれぞれ課題を抱える。動物園・水族館では、物価上昇の影響でエサ代が高騰する一方、デジタル化の遅れと娯楽の多様化で、集客数がピーク時と比較し4割減少。生産現場では、規格外の発生による廃棄ロス対策や新たな活用法、さらに収益性の高い販路開拓が求められている。



## 解決策

動物園・水族館で生活する好きな動物たちに食事をプレゼントできる推し活サービス「Hello!OHANA」を開発することで課題を解決する。動物に届けられる食事は、見た目だけの問題で規格外となった野菜・果物や、漁獲量によって割安になった魚で、生産者や漁業関係者にとっても収益性が高く、新たな販路開拓になる。



検証実績

## 検証項目

### 規格外のエサを動物たちが食べてくれるかどうか

食事のテストを通してエサの動物のマッチングを検証

### オペレーションは問題なく実行できるかどうか

エサ発注→梱包・配送→受取・給餌の動作を確認する

### ファンはサービスを利用したいと思えるかどうか

デブスインタビュー、アンケートを通して回答を収集

### アプリ開発に必要な機能、設計

デブスインタビュー、アンケートを通して回答を収集

## 取り組み内容

**食事テストの実施** エサ発注→梱包・配送→受取・給餌のオペレーションに問題が発生しないかどうか検証。また、動物たちが加工用みかんや食べたことのない魚でもおいしく食べてくれるかどうか検証した。

**ファンへのデブスインタビューとアンケート実施** 月1回以上動物園・水族館に通っている熱心なファンを対象に、普段の活動内容やアプリへの機能面でのご要望を伺った。

**ウェブサイト制作、アプリのプロトタイプの開発** 「Hello!OHANA」のウェブサイト上で、サービスに興味のある事前登録者を獲得し、ウェブサイト内のアンケートとデブスインタビューで伺ったご意見を基にプロトタイプの開発に進んだ。

## 成果・結果

### 規格外のエサを動物たちが食べてくれるかどうか

人間と同様に動物たちにも食の好みがあるため、特に魚は個体によって食いつきが異なったが、時間が経てば慣れて問題なく食べるようになった。愛媛県産の規格外のみかんも、普段食べない魚も、動物たちに受け入れられた。

### オペレーションは問題なく実行できるかどうか

生産現場、動物園で立ち合いながらオペレーション検証を進めたが、特に問題が発生することなくスムーズに進行した。しかし冷凍配送のエサも多く、物量と送料のバランスは今後の課題となった。

### ファンはサービスを利用したいと思えるかどうか

「推し活アプリを利用したい」の回答率が約87%、事前登録者上限100名も3日で集まり、動物ファンからの高いニーズを確認することができた。

## 今後の見立て・意向

今後は、5月にWEBアプリのプロトタイプを動物ファンの皆さまに体験いただき、アプリの機能・設計等の課題を発掘する。その後、6月～8月にプロトタイプの修正・機能追加等を経て、9月にはクローズドβ版のローンチを目指す。クローズドβ版ローンチまでに、ファンの皆さまが継続的に課金をしたいと思えるサービス提供が求められ、動物にプレゼントできるエサの種類・登録動物の種類を増やす、その他にも、プレゼントした回数によって特典が得られるなどワクワク感あるゲーム性を取り入れる必要もある。さらに、今期で課題になった送料については、発注量・立地によって適切な金額・配送方法を比較検証し、全国の動物園へエサを配送する際、数量を一度にまとめてお届けすることで出来る限り送料を抑えられる方法を固めていきたい。

## 取得データ

私たちのサービスがマーケットで成立するのか・求められるもののかを検証するために、①動物園、生産者、動物ファンそれぞれが抱える課題、②動物たちが食べるエサの種類・量・配送方法、③動物ファンが「推し活アプリに課金したい」と思えるサービス内容について大きく3点のデータを取得した。

## データ活用による考察・示唆

動物園・水族館の推し活アプリ「Hello!OHANA」の仕組みは、動物園・水族館のエサ代高騰、生産現場の規格外の発生による廃棄ロス対策、好きな動物にプレゼントを贈りたいファン、3者それぞれの課題や要望に応じているサービスであることが分かり、アプリのプロトタイプの開発まで進めることができた。